

職業訓練短期大学校における  
カリキュラム編成とその展開過程

昭和60年度

雇用促進事業団 職業訓練大学校  
職業訓練研究センター

# 目 次

## I 研究の概要と分析の要約

## II 研究の報告

1. はじめに — 問題意識と課題 —	7
2. カリキュラム編成の実態	10
(1) 専門学科と実技単位数の配分	10
(イ) 全体傾向	10
(ロ) 主要訓練科の変化	11
(ハ) その他の訓練科	19
(2) カリキュラムの編成形態	24
(イ) 専門学科	26
(ロ) 実 技	29
(3) ま と め	36
3. カリキュラム編成の考えかたとその規定要因	39
(1) 卒業生像の設定	39
(イ) 技術者と技能者の中間的存在	39
(ロ) 技能者から技術者への橋わたし	40
(ハ) 高度な技能者の養成	41
(ニ) 多様なテクニシャン像	41
(ホ) 問題解決能力	42
(ヘ) 期待されるテクニシャン像	42
(2) 公的職業資格	43
(イ) 教育目標と取得援助	43
(ロ) 連携上の問題点	44
(3) 学生の資質	45
(イ) 学習能力	45
(ロ) “基礎”能力	46

(4) 地域ニーズ .....	46
(イ) 地域産業とカリキュラム .....	46
(ロ) “全国募集型” 職訓短大 .....	47
(ハ) 他の種類の教育機関との関連 .....	48
(5) 総訓時代の伝統 .....	49
(6) コンピューター教育の拡充 .....	49
(7) まとめにかえて .....	50
4. おわりに .....	52